

南区組織目標の進め方について(案)

～区の組織目標（重点取組事項）の各部会での検証・評価について～

【経緯】

「行政が策定する計画に自治協議会委員と一緒に議論し参画することで、より協働の要としての役割を果たすことができる」との意見を踏まえ専門部会を設置し検討を経て、平成 30 年度より取り組んできました。

【課題】

南区組織目標の検証を始めて 4 年目を迎え、「検証した結果がどう反映されているのか見えてこない」、「検証だけではなく自分たちの役割は何なのか」、「検証するだけでは委員としての達成感がない」などの意見や、検証作業に 4 ヶ月を要するなど大きな負担が掛かっていました。

また、検証結果が部会が取り組む自治協議会提案事業に活かされていませんでした。

更に、令和 3 年度には、将来の南区のまちづくり構想を描く次期「南区 区ビジョンまちづくり計画」の策定が始まります。（詳細時期未定）

【見直案】

区行政に委員が参画し、更に区民と協働することで目標を達成できる取り組みを選択し、課題解決に向けて企画・実行することを目的とする。

【効果】

地域課題を共有することで、委員自ら事業を企画し各部会の提案事業予算を有効的に活用し、地域課題の解決に向けた事業につなげることができる。

これまで（第 7 期）	今後（第 8 期～）
<p>■各部会で検討・検証する事業を選択</p> <p>⇒各部会 区の自己評価の妥当性の確認、改善点など検討・評価を行っていた。 部会予算との関連がなかった。</p>	<p>■委員と区が協働で目標達成できる事業を選択</p> <p>⇒各部会 委員が参画し、更に区民と協働して課題解決に向けて取り組める事業を選択し、課題解決に向け部会で何が出来るのかを検討し、各部会に割り当てている予算で効果的な取り組みを実行する。 南区の将来のまちづくり構想を描く次期「南区 区ビジョンまちづくり計画」の策定には自治協委員も参画します。</p>